

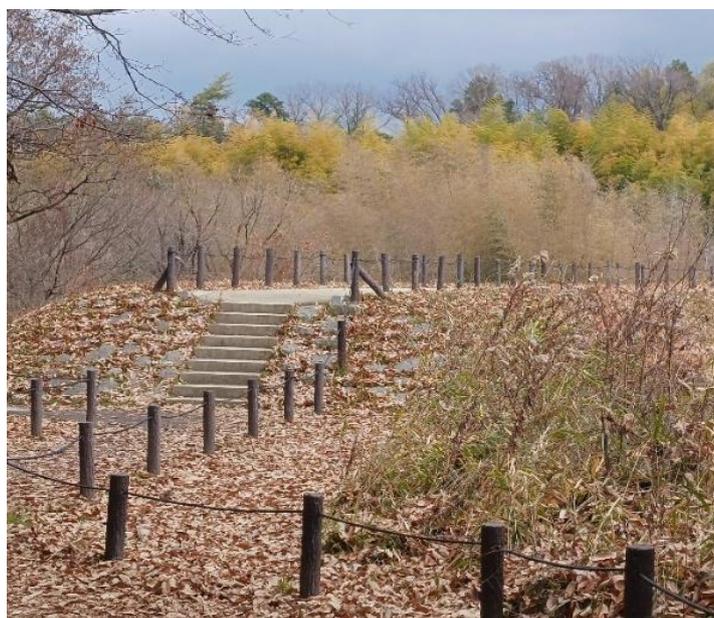
講座その5,

1, 猪高緑地のハチクを見てきました・・・2/20 竹林整備のあと有志7名が参加。

・猪高緑地は東名インター南側に広がる 66.2ha の緑地で、以前は旧長久手町の緑地とつながる広大な緑地帯でしたが 2000 年頃から長久手側が区画整理され、万博後はほぼ住宅地に変貌しました。名古屋市には過去にこの緑地をモトクロスロードにする計画がありましたが、住民が「猪高緑地を守る会」を作って反対要請を行った結果残すことができたのですが、今となっては本当に貴重な緑地です。現在は「名東自然倶楽部」によって保全活動が続けられています。

現在モウソウチクの拡大が進み、塚ノ杵池の周囲を取り囲んでしまっています。名東自然倶楽部では里山保全グループが竹の整備を行っており、タケノコの時期には大規模な市民参加による竹切り体験を行っているようです。モウソウチクが圧倒的に多く次いでマダケで、ハチクは少ないですが、2022 年の開花に続き 2024 年にも、近くの別な場所で開花枯死しました。その現象は「講座その4」に写真付きで書きましたが、今回は両方のハチクのさらに枯れ切った姿を見ることができました。

塚ノ杵池の堤体(人口堤防)に面し枯れているハチク林



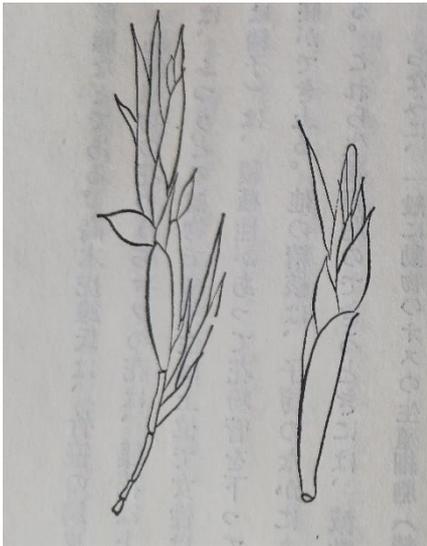
今回、里山保全グループの代表 F さんと打合せをしましたが当日は時間が合わず、外部の我々だけでは柵の中へ進入できない決まりのため、枯れたハチクの根元に再生の回復笹が生えているかどうか?の確認はできませんでした。5 月のタケノコ発出時に F さんと中まで見に行きたいと思います。背後に黄色く見えている竹はモウソウチク林でした。

このあと昔の里人が畑作のために開拓した切り通しが遺っている道を通りぬけ、手入れされたマダケ林を見ました。ボーイスカウトが整備しているエリアもあり、様々な力を借りての竹林整備であることは私たちと共通ですが、竹炭焼きが出来ていることは参考にしたいところです。

2, クロチクが開花・・・東山の森づくりの会・藤巻班 I さんの自宅で開花

2024 年春に開花したクロチクの枝を I さんからもらいました。クロチクはハチクの変異体なので今の開花現象に反応していると思われますが、すでに 1 年が経っているため花はないものの、アップで見ると開花した花序の形がよくわかるので「その4」の図と並べてみました。

上田氏「竹と人生」p105の図



↓ 細い垂れ下がりはおシベの残りか？



★クロチクの枝にはマダケのような穴が開いていました。 ↓



Galaxy A23 5G

3, トウチク、当地には 6 か所もあります！

竹マップ(下記)の **ピンクの箇所** にトウチクが確認されています。中道沿いは以前に皆伐したのですがまたトウチクが出てきています。またメダケの場所にもトウチクが復活してきています。



<トウチクの特長>

トウチクはくらしの森においては最も多い竹なのですが、普通にはあまり見られない竹です。特長としてはまず第一に節と節の間隔が長く最長 80cmにもなることで見分けが容易です。堅い節が少ない分、稈のねばりが弱く、重くてざらつきもあるなどから竹細工には適しませんが、稈の緑色が美しく、低めに仕立てて庭の鑑賞竹として人気があります。

ダイミョウチクとも言われるのは、節の上で伐って周りを刈り込むと枝が密生して丸くなり、大名行列の毛槍に似るといふ説もあれば、地位ある人が好んだという説もあり、そもそもダイミョウチクと呼ばれる竹が地方によって様々だったりして、その場合は有益な上物を指しているようですがよくわかりません。また竹の皮(稈鞘)が白くツルツルで、稈に付いている時期は見栄えが良いです。タケノコは灰汁が強いといわれますが美味しいという説もあります。

広場のトウチク ↓



中道のトウチク ↓



奥池のトウチク ↓



狭い場所でも鑑賞できるトウチク ↓



トウチクのタケノコ ↓



<トウチクの整備方針>

トウチクは数年来タケノコの管理が手遅れとなっていたため、中道の南側と奥池への拡大が著しく、なんとか制御するために、**1m 切り**に取り組んでいます。特に奥池は里山の家から遠く、夏も冬も厳しい作業環境であることから**竹を1mで皆伐してもとの雑木林に戻す**方針に切り替えたところです。

↓



どちらもダムが増えて積み上がり、減容が難しく、チップ化するほど経費もかさむため、公園管理課さんに相談した結果、稈をダムに積まずじかに平積みにする方法に転換しました。

現在は中道のトウチク橋から南へ直進した突き当り(下の写真)と、カンチクの東の笹藪の中にダムの稈を並べています。暖くなれば虫が入り減容が進むかと期待されます。場所により一律ではありませんが、ダムを早く土に返す方法として追求していきます。

実際、伐った竹を地面に寝かせておくと、短期間で葉も稈も白化していくので、トウチクだけでなく他の竹種においても、人目に付かない場所に平積みを試していく方針です。

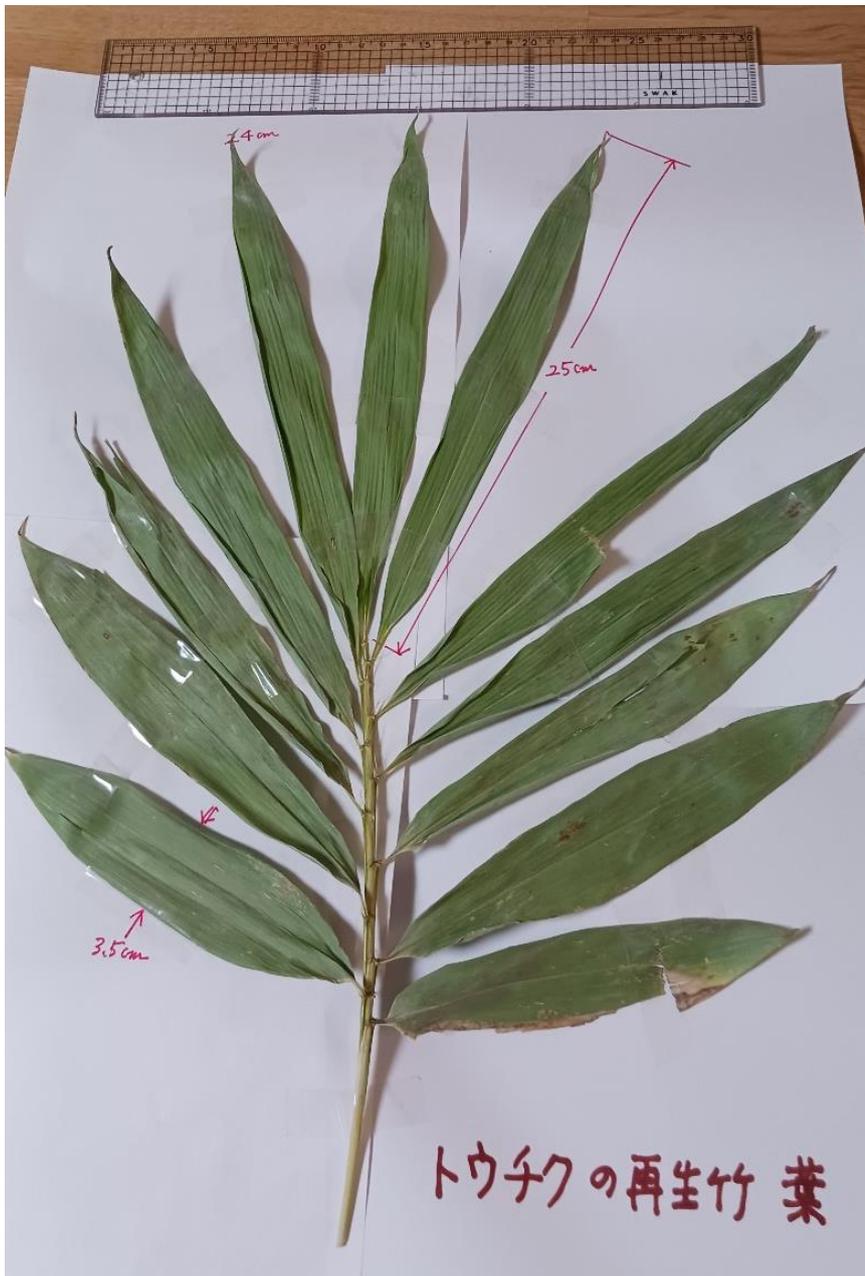


★トウチクの枝払い法 ⇒
竹の先端を頭上に傾けて枝を払えば
同じ姿勢で両側の枝を落とせる

★中道のトウチクは子ども森づくり隊の竹切り体験の場として、大切に整備していきます。またくらしの森は野鳥や小動物の生息の場でもあることから竹林内の笹や草木を片付けすぎない(生き物の隠れ場を奪わない)ことも心に留めて作業をしたいと思えます。



★トウチクを1m切すると、ピンチ到来！とばかりに大きな葉を出して光合成し地下茎に栄養を送ろうとします。どのくらい葉が大きいのか？ふつうの葉と再生竹の葉を比べてみました。



← 再生竹のトウチクの葉
最大の葉の長さは25cm
最大の葉の巾は3.5cm

↓ 普通のトウチクの葉
最大の葉の長さは10cm
最大の葉の巾は1.7cm



ひと月前に1m切した再生竹の節ごとに出ている葉 ↓

